

各位

平成 17 年 6 月 24 日
会社名 株式会社伊勢丹
コード番号 8238
代表取締役 社長執行役員
武藤信一
問合せ先 総務部広報・IR 担当長
山崎茂樹
連絡先(03)3352-1111

株式会社丸井今井からの支援要請受諾について

当社は、本日（平成 17 年 6 月 24 日）開催の取締役会にて、株式会社丸井今井（以下：丸井今井）の支援要請を受諾し、当社、丸井今井、北海道マザーランド・キャピタル株式会社（以下：HMC）との 3 社間において、丸井今井への支援に関する「基本合意書」を締結することを決議いたしましたので、ご報告いたします。

1. 本件の背景及び理由

当社は、5 月上旬に丸井今井より再生計画（案）の骨子に基づく支援要請を受け、その可能性について検討してまいりました。その結果、創業以来札幌を中心に地元のお客さまより高い支持を得てきた丸井今井に対し、当社の営業ノウハウを導入することで、丸井今井の営業力の更なる強化に繋がり、その抜本的な再生に寄与出来ると判断致しました。そして本日、丸井今井が策定した

会社分割

債務の株式化を含む金融機関からの支援

HMC 等による第三者割当増資の引受け

などを骨子とする再生計画（案）が成立することを前提として、要請を受諾し、丸井今井並びに HMC との 3 社間で基本合意書を締結することにいたしました。

2. 業務支援の内容と狙い

（1）当社は丸井今井に対し、

情報システム等営業基盤のトータルパッケージでの導入

人材の派遣

等を行い、両社の顧客情報収集から計画、仕入、販売に至る一連の業務の流れを合せてまいります。なお、上記に掲げた支援の詳細については今後詰めていく予定です。

（2）これにより、丸井今井のMD力の精度向上やシステムコストの合理化等を実現し、事業の抜本的な再生を果たすとともに、札幌を中心とした北海道エリアの商業活性化に繋げてまいります。また、当社にとってもサプライチェーン全体の改革において一定の影響力を保持することで、お客さまのご要望に応える品揃えを実現し、収益力向上につながる戦略的な取組みになると考えております。

3. 株式会社丸井今井の概要

- (1) 商号 株式会社 丸井今井
(2) 事業内容 百貨店業
(3) 設立 1919年(大正8年)
(4) 本店所在地 札幌市中央区南1条西2丁目11番地
(5) 代表者 代表取締役社長
柴田 哲治
(6) 資本金 4億93百万円
(7) 発行済み株式総数 9,860千株
(8) 大株主構成及び
持ち株比率 株式会社整理回収機構 4.2%
あいおい損害保険株式会社 3.5%
アイティ・スター生命保険株式会社 3.2%
株式会社丸井ビルシステム 2.7%
株式会社みずほアセット 2.5%
(9) 決算期 1月末日
(10) 従業員数 正社員910名/契約社員659名/パート社員436名(平成17年1月現在)
(11) 百貨店店舗 札幌本店、小樽店、函館店、旭川店、室蘭店、苫小牧店、釧路店
(12) 最近事業年度における経営成績(単体)

	平成17年1月期
売上高	105,040百万円
営業利益	1,665百万円
経常利益	1,476百万円
当期純損失	643百万円
総資産	68,927百万円
純資産	2,984百万円

なお、株式会社丸井今井は連結決算を実施していません。

4. 日程(今後の予定)

平成17年6月24日	当社、株式会社丸井今井、北海道マザーランド・キャピタル株式会社の3社間で基本合意書を締結
平成17年10月末日	丸井今井の会社分割実施を予定

会社分割実施以降、速やかに支援契約の締結、および人材派遣等を行えるよう、今後詳細を詰めてまいります。

5. 当社の今後の業績見通し

本提携による今後の業績に与える影響は軽微であります。

<参考>

HMC(北海道マザーランド・キャピタル株式会社): 地元行政、道内金融機関、大和証券SMB Cプリンシパル・インベストメンツ等の出資による北海道企業再生ファンドの運営会社。

ADO: 全日本デパートメントストアーズ開発機構の略で、共同仕入等の活動を中心に現在全国の有効百貨店32社71店舗が加盟。平成16年度の加盟店売上高は2兆100億円。

以上